

## ランドスケープデザイン部門

—まちが美しくなるみどりづくり—

大阪府 知事賞

プラウド茨木双葉町



【事業主】野村不動産株式会社  
【設計者】株式会社INA新建築研究所西日本支社  
【施工者】大鉄工業株式会社

Address

A 大阪市双葉町

Outline

計画地は大阪と京都を駆け抜けた茨木市駅前商店街沿いにある家電量販店の跡地で、周囲には敷地境界線まで建てられた建物が多くゆとりのない街並みであり、本計画では、閉塞的な環境の改善を追求すること。

街へとの接続可能性を関係性)を築くために、高密度特例許可制度を利用し、豊かな余白(オープンスペース)を確保し、「ミニユニケーション装置」として活用することを計画しました。

建物の高密度突破により、空地率40%・緑地率20%超の「余白」(オープンスペース)を創出し、余白のランドスケープは「都市の森」をコンセプトに計画しました。

Review

本物件は、駅前商店街沿いにあった家電量販店の跡地に建設されたマンションであるが、マンション建設により、駆け抜けられるという懸念に対して、巧みなランドスケープデザインによって抵消した商店街でのマンション立地への一つの解を提示している。また、駆け抜けられる街並みに豊かなオープンスペースを配し、パリューム感のある植栽によって潤しのある街路景観を創出している。植栽帯に囲まれたオープンスペースは街角広場としてイベントを定期的に開催することによって、いわば人と街とのコミュニケーション装置として機能させ、商店街の駆け抜けの連続性を確保している。さらに、一角には自転車を活用した平面の共用棟「HITOTOKI」が配置されており、木のぬくもりとともにそこに暮らす人々の営みを商店街に対して表現させている。外構照明もしかし人々や小さく導くような「灯り」など、強烈のとなりがちな立体駐車場、巧みなファサードのデザインによって街並みの形成に寄与させている。また、マンション内の中庭や外構では月に一度のグリーンイベントが開催されワークショップの成果が街角に展示されており、人々の営みを伴ったいわば生きたランドスケープとなっている点も今後のオープンスペースのデザインに一定の方向性を提示していると言えよう。

(大阪府立大学名譽教授 増田昇)

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 会長賞  
グランカサレー玉造



【事業主】アートプランニング株式会社  
【設計者】株式会社IAO竹田設計  
【施工者】多田建設株式会社西日本事業本部

Address

B 大阪市東成区

Outline

本計画は69戸の分譲型共同住宅におけるランドスケープデザインで、計画地は北・西の二面接道で、西側側には地域の人々が集う東小橋公園があります。以前はバチンコ店として壁面の隠れが確保されていない状況でしたが、本件では建物周辺の三方に公園空間として「ゆとりのある歩行者空間」や「豊かな緑地」を設え、街の美觀や安全性などのアメニティ(居心地よい環境)を向上し、中でも植栽帯の設えに注力し、隣接公園の樹々・花々との調和した多彩な樹種が公園の風景と相まって街の景観形成に寄与していくことをを目指しました。

Review

本計画は、駅前商店街沿いにあった家電量販店の跡地に建設されたマンションであるが、マンション建設により、駆け抜けられるという懸念に対して、巧みなランドスケープデザインによって抵消した商店街でのマンション立地への一つの解を提示している。また、駆け抜けられる街並みに豊かなオープンスペースを配し、パリューム感のある植栽によって潤しのある街路景観を創出している。植栽帯に囲まれたオープンスペースは街角広場としてイベントを定期的に開催することによって、いわば人と街とのコミュニケーション装置として機能させ、商店街の駆け抜けの連続性を確保している。さらに、一角には自転車を活用した平面の共用棟「HITOTOKI」が配置されており、木のぬくもりとともにそこに暮らす人々の営みを商店街に対して表現させている。外構照明もしかし人々や小さく導くような「灯り」など、強烈のとなりがちな立体駐車場、巧みなファサードのデザインによって街並みの形成に寄与させている。また、マンション内の中庭や外構では月に一度のグリーンイベントが開催されワークショップの成果が街角に展示されており、人々の営みを伴ったいわば生きたランドスケープとなっている点も今後のオープンスペースのデザインに一定の方向性を提示していると言えよう。

(奈良県立大学地域創造学部地域創造学科 教授 井原縁)

## ランドスケープデザイン部門

—まちが美しくなるみどりづくり—

奨励賞

VentColline



【事業主】三都土地建物株式会社  
【設計者】積水ハウス株式会社  
【施工者】積水ハウス株式会社 杉田造園株式会社

Address

C 枚方市鶴山手町

Outline

枚方市駅よりほど近く、閑静な住宅街に位置し、徒歩はスイミングスクールだった広大な土地で、北側は枚方市を一望出来る眺めです。東からの風越風をRCフレームのウインドキャッチャで受け、室内に風を取り込んでいます。前庭を香りの森として、季節ごとにかかるほのかな香りを楽しめます。RCフレームに仕切ったアプローチは石と木に包まれた特別な空間で、2.5m上がった敷地はさざぐるものない風の丘(VentColline)と名乗るのに相応しい建築となっている。

Review

枚方市駅近くの丘陵地に立つ、大きめ斜面地を有する理賛なマンション。かつてスイミング施設があった場所の再開発である。緑の少ない市街地において前面の重厚な緑を維持的に保全している価値は大きい。旧施設のアプローチ階段部分は周りオーバーブンなままで、既存の桜を保全しながらうまくリペアションされている。また階段を上がらエントランス部分も通り抜け可能な斜路の一部に通った子供達も、優しい桜の木に囲まれた斜路の部分についても緑は添えられており、エントランス部分も通り抜け可能な斜路の部分についても緑は添えられているが、ドライな構造物が目立つて緑の成長やさらなる緑化のアプローチを期待したい。

(株)庭樹園 代表取締役 畠内 匠

## ランドスケープマネジメント部門

—まちが笑顔になるみどりづくり—

奨励賞

エレガンス枚方組

Address ① 枚方市大垣内町

Outline

私たちは、枚方市みどりの基本計画に賛同し、一人でも多くのみなさんに、土を触る楽しみや草花の魅力を知っていただきました。

枚方花と緑といっしょにしたいという想いで活動団体を立ち上げました。

現在の活動場所は主に市役所庁舎前花壇、京阪枚方市駅前から市役所を結ぶ「ふれあ通り」に設けられた花壇、市民病院前花壇の3ヶ所で、平均して週に～3回の頻度で活動しています。各花壇のデザインから草花の育苗・植え付け、植後管理までをメンバーで協力して取り組んでいます。また、自分たちの花壇整備だけでなく、枚方市の園芸講座や緑化イベントにも積極的に協力し、花と緑が広がる取り組みを行っています。

ハギング(スケット)を愛好するメンバーを中心いて運営団体「エレガンス枚方組」が運営する花とみどりの活動団体「エレガンス枚方組」は、枚方市のみどりのまちづくり基本計画に賛同し、隣町のセントスキルを發揮して、公共空間の花壇のマネジメントや寄せ植えの体験学習など、行政と協働で花とみどりがあふれるまちづくりの普及に貢献している。多くの市民が訪れる、枚方市庁舎前花壇、京阪枚方市駅前から市役所を結ぶ「ふれあ通り」の花壇、市民前花壇が、活動の主な舞台であることも効果的だ。

境内にちなんだ花壇のデザインから、花の育成・植え付け、植栽後の管理まで、メンバーがアイデアを出し合い、楽しみながらクオリティの高いマネジメントが行われている。一連の營みに触れる人々の心が安らぎ、会話を弾む。さらなる波及に期待したい。

(大阪ガスネットワーク(株)エネルギー・文化研究所 特任研究員 弘木由香里)



奨励賞

「種から育てる花づくり」活動

【活動者】コットン平野

Address ② 大阪市平野区

Outline

コットン平野は、平成17年に平野区の「種から育てる花づくり」支援事業のもと設立され、平野公園内にある花づくり広場を開設拠点とし、グリーンコーディネーターも参画するボランティア団体です。

ボランティアの皆さんが自分たちの手で種から花を育て、その花を公園、学校園、区役所などに植えさせて、地域への愛着を深めながら自主的なまちづくりへの参加意識を高め、潤いのある美しいまちづくりを進めています。活動を行っていきます。毎週一月~二ヶ月の午前中に活動を行うほか、昨年からは、長年放置されていた平野区役所周辺林蔵地の整備を行って、花壇として再生させました。

大阪市平野区平野公園の「はなづくり広場」を拠点に、ボランティアの方々が自らの手で種から花を育て、その花を地域に広げていく取組である。花苗の育成・配布だけでなく、長年放置されていた区役所周辺林蔵地のひまわり花壇としての再整備を行ってきました。行政の支援事業を活用した取組であるが、事業開始よりも昔から花を育てる活動が続けられ、現在では区内の学校園など数多くの場所に花苗が配られている。長年に渡り継続されている社会性の高い取組である。このような取組が今後も継承されていくことを祈念します。

(大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻 講師 高木 悠里)

